

筑紫女学園大学人間文化研究所主催 真宗文化財シンポジウム・史料展観

近代化の中の真宗寺院

-萬行寺・七里恒順和上を中心として-



日時 2018年2月3日(土)13:00~17:00

場所 萬行寺第3会館1階ホール

福岡市博多区祇園町4丁目50 TEL.092-291-1556

筑紫女学園大学による真宗寺院文化財調査研究の成果を一般に公開します。
近代化の中で真宗寺院が果たした役割について、萬行寺の名僧・七里恒順和上(1835-1900)の活動を中心に再考します。
当日は萬行寺の貴重な文化財も特別公開します。

趣旨説明 13:00~13:10

中川 正法 (筑紫女学園大学・学長)

第1部 基調講演 13:10~14:10

明治国家と真宗

山口 輝臣 (東京大学・准教授)

第2部 萬行寺・七里恒順和上再考 14:30~15:30

近代本願寺教団と七里恒順和上

栗山 俊之 (筑紫女学園大学・教授)

萬行寺と龍華孤児院

高石 史人 (筑紫女学園大学人間文化研究所・客員研究員)

第3部 ディスカッション 15:50~16:30

司会：時里 奉明 (筑紫女学園大学・教授)

史料展観

12:00~

17:00

●申込方法 往復ハガキ・FAX・Eメールより。下記①~⑤をご記入下さい。1月26日(金)締切
①「真宗文化財シンポジウム」②氏名 ③郵便番号 ④住所 ⑤電話・FAX番号

●申込先 〒818-0192太宰府市石坂2丁目12-1

筑紫女学園大学人間文化研究所「真宗文化財シンポジウム」

FAX: 092-925-8319

E-mail: institute_enquiry@chikushi-u.ac.jp

●後援 福岡市・福岡市教育委員会

※本企画は本願寺派教学研究助成財団平成28年度教学研究助成、筑紫女学園大学平成29年度特別研究助成によるものです。